

◇不動産何でも小噺

『相続川柳』 って ご存知でした？

営業部

アセットマネジメント課

課長代理

山本 裕太

公認 不動産コンサルティングマスター
宅地建物取引士
賃貸不動産経営管理士
相続診断士



皆様こんにちは！

今回は、『相続川柳』を紹介いたします。

『親子で相続を考える会』（事務局：東京都中央区、フロサーチ株式会社内）では、気軽に楽しく相続について考えるために募集した第3回「相続川柳」の受賞作品を発表しました。

2018年11月5日～2019年2月4日まで作品を募集し、期間中の応募総数は2,951句あったそうです。



「相続」というテーマに対して、多くの方々が関心を寄せられていることが改めてわかります。

選ばれた作品の多くは、相続で問題となっている「認知症」や「所有者不明の土地」や、今のご時世を反映した「AI」や「炎上」などのキーワードを用いて、皆様の相続に対する想いや考えが5・7・5の言葉の中に見事に表現されていました。

今回の最優秀賞に選ばれたのはこちらの作品です。

【最優秀賞】

『相続は Siriに聞くより 親に聞け』

今話題のスマートフォンAIアシスト機能の『Siri』。いくら万能なSiriでも、相続問題の解決は難しいと思いますが、今後AIがもっと進化してきたら、そんな時代が来るのでしょうか。

その他、優秀賞や佳作の作品は以下になります。
深く納得してしまうものや、笑いもあり、今の世相を反映していると感じます。

【優秀賞】

『まだ早い 言ってた父が 認知症』
『そろそろと 言い出すことが 親の義務』
『子に譲り 妻と語らう ゆるり旅』
『炎上は やめて相続 「縁」と「情」』
『先延ばし 今や地権者 105人』

【佳作】

『生前に 聞けば良かった パスワード』
『遺産より 高くつきそう 解体費』
『実家売る 結論が出た 七回忌』
『土地あるが 売れず残され 父の遺産』
『遺言の 震える文字に 父の愛』
『まだまだが ばたばたになり ごたごたに』
『相続で 兄弟愛を 再確認』
『田も山も 今はお荷物 押し付け合い』
『争族で 変わる性格 変えた金』
『火種より 愛の種火に する遺産』

相続は資産の大小に関わらず、誰にも関係するものです。

この相続川柳を通して、一度ご自身の相続に対しても、考えてみては如何でしょうか？

